

さとやま通信

sa to ya ma つうしん

<Vol.47>

「里山の維持再生ゾーン」の実現に向けて

～市民協働による持続可能なまちづくりのモデルケースとして～

第4回 SATOYAMA市民フォーラム

～木津北地区の生き物たち～



とき 3月19日(土) 午前10時～正午
ところ 市役所1階「住民活動スペース」

学研地区唯一のさとやまである「木津北地区」は、多数の人口を抱える関西文化学術研究都市にありながら、カスミサンショウウオやオオタカといった希少な生物に代表される「さとやま」の豊かな自然が残されています。一方、都市的開発が中止となり、土地の適切な維持管理がされなくなったことによる自然の荒廃

にも直面しています。

今回、この木津北地区において生息する生物について、1年を通して調査を実施しましたので、その調査の報告をおこなうとともに、カスミサンショウウオについての論文を発表するフォーラムを開催します。

* 講演

(1)午前10時10分～10時55分

「木津北地区のカスミサンショウウオが必要とする生息環境」—修士論文から

吉岡 憲成 氏(京都大学大学院農学研究科 森林科学専攻修了、現株式会社環境総合テクノス)

(2)午前11時～11時50分

「ボランティアの人が育む木津北地区の生き物」平成27年度木津北地区生物調査の結果から

栗本 修滋 氏(株式会社共同設計企画代表取締役、大阪大学特任教授)

* 木津北地区活動団体のパネル展示

(地区内で活動している団体紹介のパネル展示をおこないます。)

■木津川市地域連携保全活動応援団

■木津川市・木津川市教育委員会



カスミサンショウウオ

木津北地区保全推進室（都市計画課内）☎ 75-1222